

## 2002年度 事業報告

### 【広報事業】

#### ■ホームページによる情報発信

6月29日より開設し、当センターの案内（運営委員会議事録やセミナー情報など）や救援プロジェクトなどの掲載を随時行っている。また、英語版のホームページを作成し、英語による情報発信も行っている。

また、兵庫県の「行政・NPO 協働事業提案」助成により、国連人道問題調整事務所から出されている災害情報ウェブページのリリーフウェブ（原文英語）の日本語訳を行い、ホームページ上での発信を目指し、コンサルタントを入れたホームページ作りを行った。現在試作運用中である。

2003年3月末までに約5,000件のアクセス数（9月末時点で545件）があり、救援プロジェクト開始時は、情報センターとしての役割を担いつつある。

#### ■CODE グッズ（Tシャツなど）の作成、及び販売

当センターのシンボルマークをプリントしたTシャツの作成販売を行った。

#### ■CODE LETTER の発行

当センターの機関誌として「CODE Letter」を下半期より隔月で発行した。

会員、救援プロジェクトの支援者や構想委員会時のメンバーその他関係機関、団体を対象に発行した。

また今年度は、3つの救援プロジェクト（イラン、アフガニスタン、中国）を立ち上げ「救援プロジェクト News」をCODE メーリングリストやホームページ上で発信した。

- ・「CODE Letter」年3回発行

発行部数1回200部

- ・「救援プロジェクト News」第1号発行

#### ■会員獲得状況

当センターの財政基盤を支えるため会員を役員、事務局で募った。

	個人	学生	NGO・NPO	団体・企業
正会員（口）	18人/19口	—	1団体	1団体
賛助会員（口）	20人/25口	—	1団体	1団体
登録会員（口）	3人/3口	—	—	—

### 【出版事業】

#### ■セミナー講演録の冊子化及び販売

02年1月に開催した「Kick Off 連続セミナー」の講演録をCODEブックレットとして冊子化、販売を行った。また、「NGO ことはじめ～Kobe 発世界へ～」（全4回）、「私が描く！地球のくらし方～知って楽しい○○編～」（全3回）も冊子を作成した。

## ■海外災害救援活動事例集の作成及び販売

阪神・淡路大震災記念協会に協力して「災害救援の方策とその経験の集積研究会」報告書を作成し、11月30日には共催で「災害救援の思想」というシンポジウムを開催した。

## 【セミナー事業】

### ■スタッフ研修セミナーの開催

HAT 神戸内にある3機関の方々の協力により、役員、事務局スタッフ、登録会員のためのスタッフ研修3回を開催した。

日付	テーマ	講師
7/26	「災害情報リリースウェブの見方、取り方」	UNOCHA 尾高 修一さん
8/20	「災害後の復興において大切なコツは」	UNCRD ラジブ・ショウさん
2/14	「災害被災地に行く際の注意点」	JICA 原田 勝成さん

### ■専門セミナーの開催

医療従事者を対象に「災害時の段階別年間教育-災害時におけるボランティアの緊急活動-」を2日に渡り開催した。

日付	テーマ	講師
12/12	「災害医療とは」	県立西宮病院院長 鵜飼 卓医師
	「緊急時の避難誘導方法 -高齢者、成人、子ども-」	国立神戸病院外科部 長 村山 良 雄医師
12/13	「緊急時のケアのあり方 -発災直後-」	兵庫医科大学救命救急センター講師 久保山 一敏医師
	「急性期における精神的援助のあり方 -1週間-」	府立千里救命救急センター副所長 甲斐 達朗医師
	「急性期における精神的援助のあり方 -脳科学からのアプローチ-」	神戸協同病院院長 上田 耕蔵医師

### ■災害時ボランティアコーディネーター養成講座の開催

登録会員の不足により実施できず。来年度以降の検討課題となる。

### ■支援プログラム事例検討セミナーの開催

直接的な救援プロジェクトを今年度は展開していないため実施できず。来年度以降の検討課題となる。

### ■入門セミナーの開催

上半期は、兵庫県生活復興県民ネットからの「地域活動推進講座助成金」を得て「NGO ことはじめ」（全 6 回）を開催した。下半期は、兵庫県の「生活復興のための NPO 支援事業」の受託により、「NGO ことはじめ 2～KOBE 発世界へ～」（全 4 回）と「わたしが描く！地球のくらし方～知って楽しい○○編～」（全 3 回）を開催した。

日付	NGO ことはじめ～私たちにできること～	講 師
6/29	「NGO って何？～NGO の今昔物語～」	榛木 恵子さん
7/13	「ODA と NGO～国際協力の現状にメスを入れる～」	神田 浩史さん
7/24	「市民の募金が国際協力へ～国際協力の第一歩～」	柳瀬 啓子さん
8/10	「世界の様々な問題から～どうなってるの国際社会～」	藤野 達也さん
8/24	「災害救援の現場から～NGO は何をしているの？～」	石井 宏明さん
8/31	「ワークショップ！～そして私たちにできること～」	池住 義憲さん

日付	NGO ことはじめ～KOBE 発世界へ～	講 師
11/30	「専門家集団の挑戦～住民主体のまちづくり～」	野崎 隆一さん
12/21	「KOBE 発地域内国際交流～多文化・多民族共生の社会へ～」	吉富志津代さん
2/15	「市民による救援活動～募金が世界をつなぐ～」	柳瀬 啓子さん
3/15	「KOBE 発世界へ～支え合いは国境を超えて～」	村井 雅清さん

日付	わたしが描く地球のくらし方～知って楽しい○○編～	講 師
12/14	知って楽しい中国編	洪 景鵬さん
2/5	知って楽しいトルコ編	シェネル・コヌックさん
3/7	知って楽しいインド編	ラジブ・ショウさん

### ■セミナー講師派遣

関係機関、他団体の主催するセミナーや講演会へ役員や事務局スタッフを講師として派遣した。

日付	セミナー名	主 催	講演者
7/12	ヒューライツ わいわいゼミナール	アジア・太平洋人権情報センター	村井運営委員
9/7	加西市 子どものワークショップ	兵庫県子ども連合会	事務局（鈴木）

## 【ネットワーク・交流事業】

### ■他団体、国際機関、国連機関との連携を強化

関係機関や他団体の主催するイベントに参加を行い、HAT 神戸内の国際機関を中心にネットワークを築いてきた。また10月1日より、同じくHAT 神戸内のUNCRD事務所の一角を借り受け、スタッフを派遣したことで、様々な国際機関に対してのCODEの認知と情報収集、交換を行った。さらにアフガニスタン救援プロジェクトでは、UNCRDと連携してプロジェクトを進めている。

日付	訪問機関
5/10	人と防災未来センター
11/21	JICA 兵庫国際センター/UNOCHA リリーフウェブ神戸オフィス
11/28	アジア防災センター/UNCRD 兵庫防災計画事務所
1/11	ワンワールドフェスティバル (1/12)
3/16	アガサチャリティーフェスティバル

### ■諸外国のNGO及び被災当事者との連携、交流

メキシコのNGO代表であるクワテモックさんより9月29日にメキシコ・キューバで発生したハリケーンIsdoreの情報が入り、事務局では、クワテモックさんやOCHAリリーフウェブから情報を収集を行った。さらに、1月22日に発生したメキシコ地震も同様にクワテモックさんから情報収集を行った。

## 【情報収集事業】

### ■他団体、国際機関、国連機関の開催するセミナーなどへの積極的参加

主に事務局スタッフが、参加をし、メーリングリストなどで情報提供を行った。

日付	名称
4/13	JICA 国際協力フォーラム
9/13	外務省日本 NGO 支援無償資金協力説明会
9/17	JICA 草の根技術協力事業説明会
10/29	外務省 NGO キャパシティビルディング研修
11/7	JICA 国際親善の集い
11/14	アジア地域ワークショップ公開セミナー
11/15	アジア地域ワークショップ
11/21	第7回国際ボランティアオープンセミナー
12/13	国際協力実体験セミナー

1/14	教育協力運営管理ワークショップ(～1/16)
1/14	キャパシティビルディング研修(～1/16)
1/25	災害人道医療支援会 in 関西
2/12	JICA と NGO との連携のあり方研究会
3/15	日本の難民受け入れシンポジウム

## 【調査・研究（提言提案）事業】

### ■被災地へのモニターの実施

吉富運営委員を3月7日～3月14日までメキシコへ派遣し、9月29日に発生したハリケーンの被災地を視察した。パートナーであるクワテモックさんと共に、養蜂業者の事業再建に対する支援の視察を行った。

### ■諸外国への調査研究

財政的な問題もあり実施できず。

### ■その他

アフガニスタン救援プロジェクトの支援内容の一つに、ショモリプレーンでの協同組合の結成支援があるため、1月8日に日生協国際部の山内さんをお招きして「CO-OP 勉強会」開催した。

## 【クラフト事業】

### ■被災地支援のクラフト販売

アフガニスタン支援のためのクラフト販売の準備を行った。来年度に販売予定。

## 【イベント事業】

### ■ファンドレイジングパーティー

「ふ～ど・ばざ～る」と題したファンドレイジングパーティーを開催した。ホストの方意外にも同胞の方も多数出席し、有意義な交流の場となった。

日付	料理国	ホスト
5/10	インド料理	スラッシュ・K・ラルさん
6/15	朝鮮料理	蔣さんご夫妻
8/6	四川料理	林同春さん/林美智子さん

### ■シンポジウムの開催

単独の開催はできなかったが、下記のシンポジウムへ共催や実行委員会へ参画した。

日付	名 称	
11/30	震災シンポジウム	阪神・淡路大震災記念協会との共催開催
12/19	トルコ報告会	主催：NVNAD/後援：CODE
1/30～2/1	国際ワークショップ	UNCRD、兵庫県、神戸市などとの実行委員会へ参画

#### ■在日外国人コミュニティとの交流

直接的な交流はしていないが、「ファンディングパーティー」や「わたしが描く！地球のくらし方」セミナーなどで多くの在日外国人と交流した。

#### 【その他の事業・活動】

##### ■CODE 基金の設立準備

11月11日に第1回CODE基金会議を開催し、準備委員会を設立することとなった。

#### 【救援プロジェクト】

##### ■イラン地震救援プロジェクト

6月22日のイラン地震発生の情報を受け事務局では、情報収集を行った。その後、26日に神戸市須磨区の「リフォームシステム21」より救援活動支援の申し入れがありプロジェクトを開始した。募金活動と「リフォームシステム21」への情報提供を行い、10月18日に集まった募金の全額をリフォームシステム21へ寄付した。また「リフォームシステム21」のスタッフとイラン人留学生と共に勉強会を7月3日に開催した。

##### ■アフガニスタン救援プロジェクト

7月17日にアフガニスタン救援委員会（事務局：被災地NGO協働センター）と共催でアフガニスタン現地報告会を開催し、プロジェクトリーダーを室崎益輝副代表としてアフガニスタン救援プロジェクトを開始した。アフガニスタン救援委員会への情報提供などを行い、平行して募金活動を展開。具体的支援内容は、現地で活動しているNGO「Shelter for Life」をパートナーとして、地震被災地ナハリンの「女性を中心にした就業支援や教育支援のための学校建設支援」とショマリプレーンでの内戦時代に焼き討ちにされた「ブドウ畑再生支援」である。その他、8月27日、10月31日、11月18日にアフガニスタン報告会をアフガニスタン救援委員会と共催で開催し、また、11月19日から22日まで「国際協力NGOによる難民支援写真展」へ出展などを行った。

##### ■中国新疆ウイグル地震救援

2月24日の中国新疆（シンキョウ）ウイグル自治区での地震発生の情報を受け、情報収集を開始し、27日には募金活動を開始した。情報収集、発信を行い、過去の経験から神戸華僑総会を通じて、震源地に近い巴楚（パチュ）県にある、倒壊した吾斯塘博依（ウスタンボイ）小学校

学校（生徒数：約 400 名）の校舎の再建支援のための募金活動を行う。兵庫県下各所でコープこうべや神戸 YMCA などの協力の下、募金活動を展開した。